

令和5年度事業計画

令和2年1月16日に日本国内で初めて確認された新型コロナウイルスによる感染症は、以降、感染拡大と収束が繰り返されてきた。感染拡大初期は、未知のウイルスへの対応であったこともあり、人流を抑制し新規感染者の増大を防ぐため、全国的に様々な分野に対する経済社会活動の抑制措置が講じられてきた。当シルバー人材センターでも、令和2年度は7.8%の契約減という大きな影響を受けた。しかし、新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化する中で、働き方や消費行動、企業の事業活動等が変化していき、感染症対策と経済社会活動の両立が図られるようになっていった。当シルバー人材センターでも、契約高において回復基調にあったが令和元年度の水準とはならなかった。

また令和3年に入って欧米を中心に景気が世界的に同時に持ち直したことにより需給がひっ迫し、原材料価格の上昇傾向が鮮明となった。さらに、令和4年2月に始まったロシアのウクライナ侵略が原材料価格の高騰に拍車をかけた。当シルバー人材センターでも、電気料金を中心に本部の運営経費や指定管理を行っている鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」の運営経費に多大な影響が出ており、この傾向は令和5年度においても続くと思われ、更なる影響が懸念される場所である。

さらに令和5年度は2つの事項が当シルバー人材センターの財務への懸念材料になっている。1つは適正就業の転換リスクである。令和4年度に入り、他のシルバー人材センターへの関係機関からの適正就業への転換が厳しく指導されていることから、当シルバー人材センターにおいても、自主的転換を図っている場所である。具体的には一部契約において、請負契約から派遣契約へ転換を行う必要があるということである。契約の相手方とすれば、負担増を伴うものであり、契約解除による財務への影響が懸念される。もう1つは消費税のインボイス制度が令和5年10月から導入されることである。導入後は、会員の配分金に内包されている消費税をシルバー人材センターが負担するため、請負契約に係る事務費率の増加を予定している。状況によっては、こちらも契約解除による財務への影響が懸念される。

I 基本方針

1 インボイス対策と事業契約の継続の推進

令和5年10月に施行される消費税法の改正によりインボイス制度が実施されることに伴い、請負契約における事務費の値上げを行い負担増となる消費税の支払いを担保する予定である。ついては請負契約額の増嵩となる契約の相手方に対して、丁寧な説明等適切な対応を行い、請負契約の継続に努めるとともに、新規事業の開拓に努める。

2 適正就業の推進

一部の請負契約を派遣契約に転換を図ることが喫緊の課題となっている。しかし、契約の相手方とすれば、手数料の負担増を伴うものであり、契約解除による財務への影響が懸念される場所である。ついては派遣契約への契約転換が手数料の増嵩となる契約の相手方に対しては、丁寧な説明等により理解を得るよう努め、適正就業を推進するとともに、新規事業の開拓に努める。

3 安全就業の推進

今後、急速に進む会員の高齢化に対応して、就業中あるいは就業場所への移動中の事

故防止のため、安全就業の徹底を図るとともに、会員に平等な就業機会を提供するためワークシェアリング・ローテーション就業による適正就業を推進する。

4 会員の拡充と会員支援の充実

安定して会員を確保するため、入会説明会の簡素化、現地説明会等、きめ細やかな入会方式を推進するとともに、会員一人ひとり入会者紹介運動を推進する。

またシルバーが会員にとって、より生きがいの場となるよう会員への相談支援体制を充実するとともに、サークル活動等親睦活動の充実を図るとともに、にゴールド会員制度のさらなる充実に努める。

5 研修の充実

質の高い就業の提供が、地域におけるシルバーの評価を高め、仕事の拡充につながることから、会員に対する研修を強化する。特に新入会員に対する基本研修及び植木班その他の専門的技術を要する分野において、技術の継承やスキルアップの研修を強化する。

6 効率的な組織づくりと予算の厳正な管理による財政基盤の強化

シルバーの限られた財源により、継続して安定的にシルバーの運営を行うために、中長期的に見込まれる収入に対応した適正な規模の組織づくりと適正な予算作成と厳正な管理により財政基盤の強化を図る。

7 現金收受の原則廃止

会計事故防止のため、事務所窓口での現金收受を原則廃止することとし、金融機関での振込に加えて、新たに導入した「コンビニ収納」の普及啓発に努める。

8 逆木荘の管理

当シルバーが指定管理を受託している鶴ヶ島市老人福祉センター「逆木荘」が、より多くの地域高齢者から利用されるよう、サービスの向上と広報の強化を図る。

9 デジタル化の推進

シルバーのデジタル化は、事業の効率化と会員のスキルアップを目指すものであり、喫緊の重要課題になっている。当シルバーの中長期的な見通しを踏まえた、当シルバーに最適なものを十二分に検討の上、その推進を図る。

II 数値目標

区分	令和5年度目標	令和4年度見込	令和3年度実績
会員数	750人	747人 (750人)	755人 (740人)
契約高	351,282千円	358,931千円 (377,400千円)	357,599千円 (369,800千円)
請負事業高	220,782千円	294,231千円 (32,000千円)	293,057千円 (314,000)
派遣事業高	130,500千円	64,700千円 (57,400千円)	64,542千円 (55,800千円)

() 数字は第3次中期計画目標数値

(考え方)

I. 契約高

① 請負事業：73,449 千円減

減要因：・派遣事業への移行等による減：78,000 千円

・前年度の解約影響による減：5,000 千円

増要因：最低賃金アップ分（3%）と令和5年10月からの事務費アップ分（2%）

② 派遣事業：65,800 千円増

・適正就業推進による派遣契約への転換と最低賃金アップ分（3%）

II. 会員数

令和4年度見込み740人の10人増（101.4%）の750人とした。

III 事業計画

基本方針実現のため、次に掲げる各事業を展開することとする。

1. 就業機会の開拓推進

(1) 新規事業の開拓推進

- ① 行政あるいは民間企業に対する新規事業の開拓推進
- ② 派遣事業による新規事業の開拓
- ③ 新規事業開拓専門員の活用
- ④ 会員の資格・経験等のデータベース化管理による新規事業の開拓
- ⑤ 生活支援業務の開拓及び包括支援体制づくり
- ⑥ 空き家管理業務の調査・体制づくり
- ⑦ ホームページあるいは広報誌シルバーつるがしまを活用した新規開拓
- ⑧ 受注開拓用PRチラシの工夫及び配布先の検討
- ⑨ チラシ・求人広告情報からの新規事業開拓
- ⑩ 顧客に対する満足度・ニーズ等の調査
- ⑪ 独自事業の開拓

(2) 質の高い仕事の提供

- ① 就業前の研修の充実
- ② 植木班・草刈班等の専門的技術スキルアップのための研修
- ③ 顧客等からのクレーム対応・会員間のトラブル防止のための研修
- ④ 苦情処理体制の整備
- ⑤ 生活支援業務等のスキルアップのための研修の実施

2. 会員の拡充と会員支援の充実

(1) 入会促進活動

- ① 市の広報紙・自治会回覧・自治会あるいは市民センター等の公共施設でのポスター等の掲示
- ② 魅力的なチラシ・ポスター・DVD等の活用
- ③ ホームページ等の活用
- ④ 広報紙の発行

- ⑤ 市民を対象とした各種セミナー・講習会の開催
- ⑥ 会員一人一人入会運動
- ⑦ 入会促進専従員配置による入会促進活動の推進
- ⑧ 入会促進のための地域でのポスティング活動の推進
- ⑨ 入会説明会の簡素化を図り説明会に参加しやすくする。
- ⑩ 現地説明会の開催推進

(2) 女性会員の増加

- ① 女性を対象とした各種講習会の開催
- ② 女性会員募集に特化したチラシの作成・配布
- ③ 女性会員向け「つどい」の開催
- ④ 「フレイル」による健康推進活動

(3) 退会者の抑制

- ① 未就業者に対するきめ細かな相談体制の構築
- ② 高齢化に対応した就業形態の構築
- ③ ゴールド会員制度の推進

(4) 会員不足の職群班対策

- ① 専門的技術を要する部門での会員養成対策
- ② 市民を対象とした植木等講習会の開催
- ③ 熟練会員による新会員に対する養成制度の導入
- ④ 機械化促進による仕事の安全化・省力化の検討

(5) 会員支援の充実

- ① マナーアップ等接遇研修
- ② 会員に対する就業満足度調査
- ③ サークル活動の推進支援
- ④ 会員の趣味等のデータベース化による活用推進
- ⑤ ゴールド会員制度の充実
- ⑥ 永年就労者への功労者表彰

(6) 地域ネットワークの整備

- ① 地域班の活性化
- ② シルバー祭、産業祭り等の各種イベントをはじめ、地域の行事等への参加による連帯意識の醸成
- ③ 地域支え合い協議会等地域団体との連携強化
- ④ 地域固有のボランティア活動の推進

3. 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

- ① 安全教育の実施
- ② 現場巡回実施による安全就業の徹底
- ③ 安全対策による業務別作業基準の作成
- ④ 発生した事故の原因分析と再発防止対策の徹底
- ⑤ 機械導入による就業の安全化推進の検討

(2) 適正就業の推進

- ① ワークシェアリング・ローテーションの推進
- ② 臨・短・軽の就業形態の点検及び改善
- ③ 請負・派遣事業の棲み分け

4. 組織運営の強化

(1) 組織の活性化

- ① 理事会の活性化
 - ・ 経営的運営のための体制づくり
 - ・ 理事の研修強化
 - ・ 幅広い地域・部門等からの意欲ある会員の参画促進
 - ・ 他シルバーとの交流
- ② 事務局組織の効率化と体制強化
 - ・ 効率的な事務局組織の検討
 - ・ 各職員間の情報共有と事務チェックの体制強化
 - ・ 職員育成のための各種研修・会計事務の研修充実強化
 - ・ 会員の資格・経験等の活用による事務局の活性化
 - ・ 経理事事故再発防止対策の徹底
- ③ 委員会の活性化
 - ・ 会員の資格・経験の活用による委員会の活性化
 - ・ 他シルバーとの交流による活性化
 - ・ 時代のニーズに対応した委員会の統廃合
- ④ 就業相談室の活性化
 - ・ 時代のニーズに対応した仕組みづくり
 - ・ 相談員の職務分掌の明確化と分掌の整理
 - ・ 補助金の有効活用による事業の活性化
 - ・ 透明性・公平性の確保と意欲ある会員の参画促進
- ⑤ 職群班の活性化
 - ・ 時代のニーズに対応した横断的な職群班の編成検討
 - ・ 少人数就業者の就業特性毎のグループ化の検討
 - ・ 職群班からの理事選出
- ⑥ 地域班の活性化
 - ・ 地域班連絡会議の活性化

- ・シルバーの各種行事への積極的参加による連帯意識の醸成

(2) 財政基盤の確立

- ① より精度の高い予算執行による安定的財政運営
- ② 補助金の有効活用による財政基盤の確立
- ③ 未収金の管理の徹底
- ④ コンビニ収納の普及促進

理事会・各委員会・事務局毎具体的事業実施計画

委員会等	取組テーマ	具体的内容
理事会	理事会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営的運営のための体制づくり ・ 理事の研修強化 ・ 幅広い地域・部門等からの意欲ある会員の参画促進（検討） ・ 他シルバーとの交流
	委員会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の資格・経験の活用による委員会の活性化 ・ 時代のニーズに対応した委員会の統廃合 ・ 他シルバーとの交流による活性化
	就業相談室の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代のニーズに対応した仕組み作り ・ 相談員の職務分掌の明確化と整理 ・ 補助金の有効活用による事業の活性化 ・ 透明性、公平性の確保と意欲ある会員の参加促進
	職群班の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代に対応した横断的な職群班の編成の検討 ・ 少人数就業者の就業特性毎のグループ化の検討 ・ 職群班から理事選出
	財政基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ より精度の高い予算執行状況の把握による安定的財政運営 ・ 補助金の有効活用による財政基盤の確立 ・ 未収金の管理の徹底

業務委員会	新規事業の開拓推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家管理業務の調査・体制づくり ・ 新規事業開拓のための開拓員の活用 ・ 派遣事業による新規事業の開拓推進 ・ 行政機関・民間企業に対する新規事業の開拓推進 ・ 受注開拓用PRチラシの工夫及び配布先の検討 ・ チラシ、求人広告情報からの新規事業開拓 ・ 会員の資格・経験等のデータベース化管理による多様な事業の開拓 ・ 生活支援業務の開拓 ・ 独自事業の開拓
業務委員会	質の高い仕事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業前の研修の充実 ・ 植木班・草刈班等の専門的技術スキルアップのための研修
	会員不足の職群班対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的技術を要する部門で、会員不足の職群班での会員養成対策 ・ 熟練会員による新会員に対する養成制度の導入 ・ 機械化促進による安全就業・省力化の促進検討
	会員支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員に対する就業満足度調査 ・ 未就業会員に対するきめ細かな支援体制の構築
	会員の高齢化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化に対応した就業形態の構築
	顧客の満足度調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客に対する満足度・ニーズ等の調査
	職群班の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数就業者の就業特性毎のグループ化の検討 ・ 時代のニーズに対応した横断的な職群班の編成検討
総務委員会	質の高い仕事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客等からのクレーム対応・会員間のトラブル防止のための研修 ・ 新入会員に対する研修

総務委員会	入会促進活動	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙・自治会回覧、自治会あるいは市民センター等の公共施設でのポスター等の掲示による広報活動の推進 ・会員一人一人入会運動 ・入会促進のための地域でのポスティング活動の推進 ・市民を対象とした各種セミナー・講習会の開催 ・入会説明会の簡素化・現地説明会の導入検討 ・特別会員制度の導入検討
	会員の高齢化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・就業以外でのシルバーでの出会い・交流の場の整備（調査）
	地域班の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域班連絡会議の活性化 ・シルバーの各種行事への積極的参加による連帯意識の醸成
	地域ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・産業祭り・市民センター祭り等各種イベントへの参加 ・地域支え合い協議会等地域団体との連携強化 ・地域固有のボランティア活動の推進（調査）
女性委員会	新規事業の開拓推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援業務の開拓 ・生活支援業務の包括的体制づくり ・生活支援業務等のスキルアップのための研修の実施
	女性会員の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・女性を対象とした各種講習会の開催 ・女性会員募集に特化したチラシの作成、配布 ・女性のための入会説明会の開催 ・女性会員向け「つどい」の開催 ・「フレイル」による健康増進活動
就業適正委員会	適正就業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシェアリング、ローテーションの推進 ・「臨・短・軽」の就業形態の点検及び改善 ・請負、派遣事業の棲み分け
安全衛生委員会	安全就業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の実施 ・現場巡回実施による安全就業の徹底 ・安全対策による業務別作業基準の作成 ・発生した事故の原因分析と再発防止対策の徹底 ・機械化促進による安全就業の促進
広報委員会	新規事業の開拓推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやシルバーつるがしま等を活用した新規事業開拓

	入会促進活動	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なポスター・チラシ・DVD等の活用 ・ホームページを活用した広報活動の推進 ・広報紙の発行
福利厚生委員会	地域ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー祭りの開催
	福利厚生活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動の推進支援 ・会員の趣味等のデータベース化による活用推進
事務局	質の高い仕事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理体制の整備
	退会者の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・退会の申し出があった会員に対するきめ細かな相談体制の構築 ・会費減免制度の周知
	事務局組織の効率化と体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員間の情報共有と事務チェックの体制の強化 ・職員の横断的な職務の推進 ・職員育成のための各種研修・会計事務の研修充実強化 ・会員の資格、経験等の活用による事務局の活性化 ・経理事故再発防止対策の徹底 ・コンビニ収納制度の推進
就業相談室	就業相談室の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズに対応した仕組みづくり ・相談員の職務分掌の明確化と分掌の整理 ・補助金の有効活用による事業の活性化 ・透明性・公平性の確保と意欲ある会員の参画促進